

平成22年9月6日

清水町議会議長 田中勝男様

清水町議会産業厚生常任委員会  
委員長 奥秋康子

## 所管事務調査について

常任委員会活動として行う所管事務調査について、このたび調査を終えたので、その結果を下記のとおり報告いたします。

### 記

1. 調査事項 高齢者福祉について
2. 調査期日 平成22年8月3日～4日
3. 調査先 大空町、斜里町

#### 4. 調査の結果

##### 【大空町】（8月3日）

大空町は、平成18年3月31日に女満別町と東藻琴村が合併し誕生した町で、オホーツク総合振興局管内のほぼ中央部に位置し、網走国定公園網走湖女満別湖畔、藻琴山を代表する豊かな自然に囲まれており、農業を基幹産業としている。

同町の担当者からは、福祉等の情報をまとめた「せいかつ・あんしんガイドブック」発行の経過を含め、地域支援介護予防等事業の説明を受けた。

合併で福祉政策にも変更が生じたことにより、合併した年から同ガイドブックを毎年発行し、町内全戸に配布している。内容は保健・医療・福祉の情報をまとめたものであり、内容が変更になった場合は、該当箇所の下線を引き文字を太くしたり、イラストを活用するなど、高齢者にも分かりやすいよう工夫がされている。

高齢者福祉施策としては、在宅高齢者及び身体に障がいのある方が、診療所やふれあいセンター等への通院・通所する際の交通手段として、福祉巡回バス・患者輸送バスの運行を行っている。また、社会福祉協議会と連携を図り、在宅介護機器の貸出しや、ふれあい交流会・ふれあい会食会を開催するなど、在宅高齢者の生活支援事業を実施している。

同町の福祉施設は、社会福祉法人で運営されており、女満別地区と東藻琴地区にそれぞれ特別養護老人ホーム、生活支援ハウス、認知症高齢者グループホームが設置されているが、現在は満床で待機者がいる状況のため、今後の施設整備については、介護保険計画の見直し時期に、増設・増床も含めて検討課題となっているとのことであった。

#### 【斜里町】（8月4日）

斜里町は、道東部のオホーツク海に面した位置にあり、知床半島がユネスコの世界自然遺産に登録されるなど、年間約150万人の観光客が訪れる町である。

同町の65歳以上の人口は3,416人で、介護認定者は、在宅者が266名、施設入所者が116名、入院者が61名で合わせて443名となっている。

同町では「総合保健福祉センターぽると21」の施設概要と、高齢者生活支援事業、保健福祉サービス基金活用事業の概要について担当者から説明を受けた。

同センターは、誰もが快適に健やかに生活していくため、情報を得たり、元気を回復するため、生きがいのもてる力強い地域保

健福祉活動をこの施設を中心に、総合的に事業推進・展開していくことを目的として、平成11年に建設された。

高齢者福祉施策としては、住みなれた我が家で、安心して生活を続けていけるように、町独自に13事業の高齢者福祉サービスを行っている。

寝たきり等の理由で、理容院や美容院に出向くことが困難な高齢者に、訪問理美容サービスや、寝具の衛生管理のため布団乾燥サービスを提供している。また、在宅介護者の負担軽減を図るため、家族介護者元気回復事業、寝たきり老人等介護手当支給事業、家族介護慰労金支給事業等の様々な事業を実施している。これらの事業は保健福祉サービス基金活用事業として行われている。

今後の課題としては、施設入所希望の待機者を減らすため、介護保険計画の見直しの際に施設の増床等を検討していくことがあげられていた。